

Weekly Report

(2013年9月第4週)

光世証券株式会社

株式市場概況

● 先週（9/16 - 9/20）の動き

日本が祝日だった16日の早朝に、サマーズ氏が次期FRB議長候補を辞退するとの発表があった。それを受け米国株は上昇し、ドルが売られた。翌17日の日経平均株価も上昇して始まったが、寄り後は弱く前日比マイナスに沈んだ。18日はFOMCを前に小動きとなるかと思われたが、上下に激しく動いた。FOMCは市場予想とは裏腹に政策変更がなく、ドル安、株高の動きとなった。ドル円は19日の朝に反転し、19日中にFOMC前の水準である99.5円辺りまで戻した。日経平均株価は19、20日と上昇し、週末の終値は前週末比+2.34%の1万4,742円となった。

セクター別では、その他金融が上昇トップに、次いで非鉄金属が並んだ。両者共に、米国の金融緩和継続が決定してからの上げが大きい。その他、株式市場の出来高の増加から証券・商品などが上昇した。下落は2セクター。 아이폰が全てのキャリアから発売され、食い合いが予想される通信セクターと、原油価格の下落を背景とした石油・石炭となった。

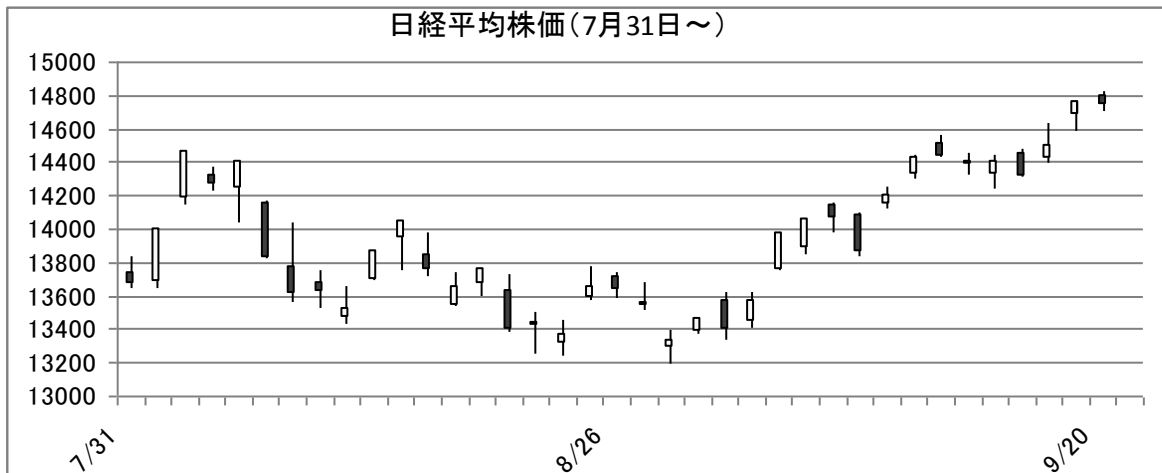
スタイルインデックスでは小型株の上昇が目立った。徐々に国内個人の資金が市場に戻り始めているようだ。

セクター動向(先週末比)				各種国内株式指数動向(先週末比)			
その他金融	7.47%	情報通信	-0.80%	マザーズ	7.99%	東証2部	2.81%
非鉄金属	5.41%	石油石炭	-0.53%	TOPIXL70	3.34%	TOPIXグローバル	2.53%
精密機器	5.07%	電気ガス	0.23%	TOPIXスモール	3.19%	コア30	2.36%
鉄鋼	4.81%	保険	0.25%	TOPIXバリュー	3.14%	日経平均株価	2.34%
証券商品先物	4.49%	医薬品	0.46%	ミッド400	2.91%	REIT指数	1.59%
不動産	4.36%	海運	0.55%	TOPIX	2.84%		

今後の注目材料

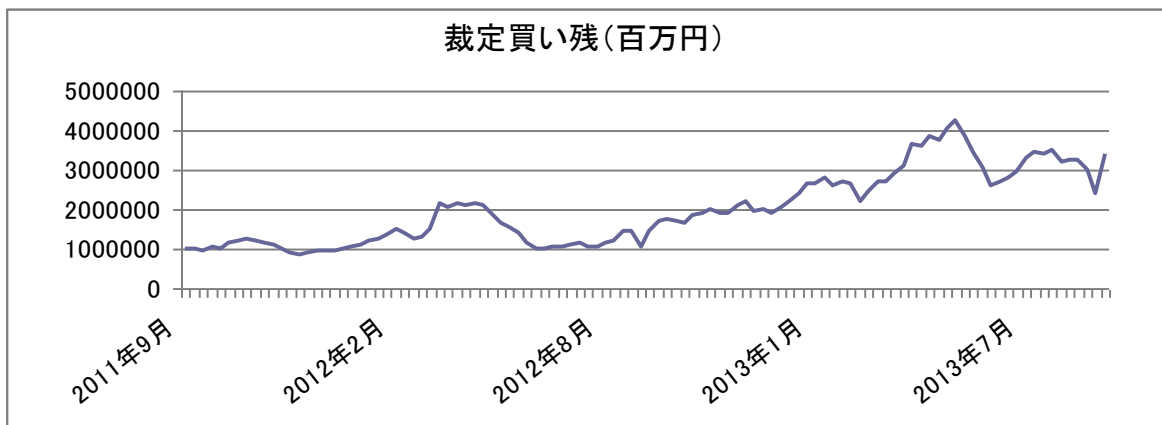
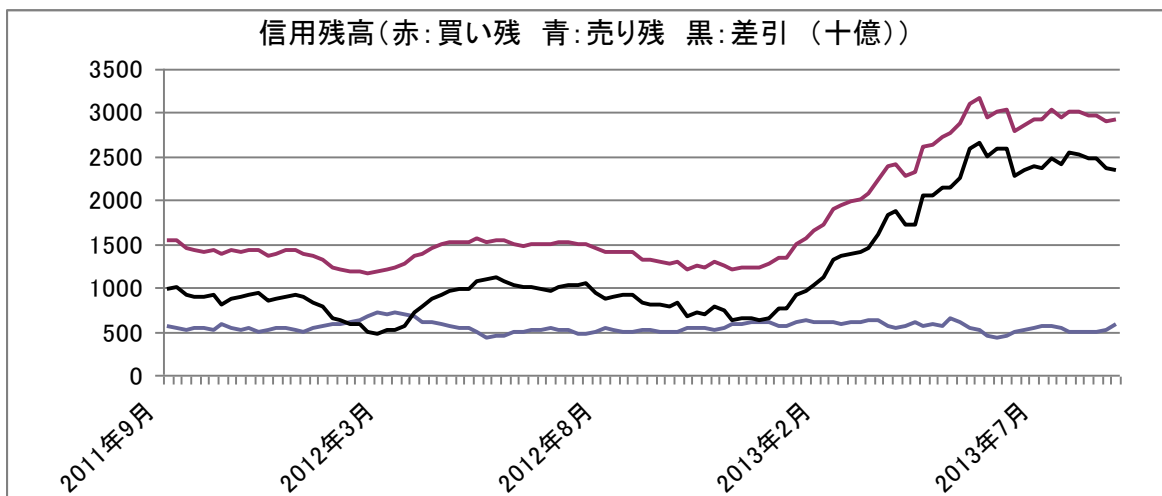
10月1日の日銀短観を見てから決めると言われている消費増税は、8%に引き上げられるというのがコンセンサスとなっており、決定してもそれほどのインパクトは無いだろう。それよりも法人減税の行方が株価の動きに大きく影響する。

FOMCは資産購入の減額を先延ばしした。雇用統計の値も今一つであったため、妥当な決定だった。注目はいつその減額が行われるかだが、雇用関連指標を見ているとすぐには行われないうだろう。これまで言われていたように、雇用統計の非農業部門雇用者数が3ヶ月平均で20万超えを一つの目安に見ておきたい。



需給動向 (前週分)

投資主体別売買動向は、海外投資家と信託銀行が買い越し。投資信託は8週ぶりの売りに転じ、個人は2週連続の売りとなった。信用残高は買い残の増加ペースよりも売り残の増加ペースの方が大きく、差し引きでは会金額の減少となった。裁定買い残高は増加。



	自己	委託	投資信託	事業法人	信託銀行	個人	海外投資家
2013/9/13	250.15	-226.59	-10.58	-32.25	53.46	-268.74	56.06
2013/9/6	100.05	-98.00	47.25	-8.54	39.20	-363.02	207.54
2013/8/30	-42.30	46.71	16.02	24.58	21.56	57.64	-106.78
2013/8/23	-61.09	32.83	29.29	54.06	-16.88	-36.44	-11.17
2013/8/16	-80.30	111.69	35.57	26.85	-3.26	-45.07	99.60
2013/8/9	-212.62	227.50	40.78	60.96	18.47	197.14	-101.02
2013/8/2	-72.99	93.13	98.84	33.15	88.82	-116.92	-20.47

光世証券 小川 英幸

本資料は、情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。また、一般的あるいは特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料に掲載されたデータ・統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、当社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時のものであり予告なしに変更されます。運用方針・資産配分等は、参考情報であり予告なしに変更されます。過去の実績は将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。

光世証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第14号
加入協会／日本証券業協会